

感動 自分から進んで 自然に学ぼう 協力しよう

～「みどりの教室」を終えて～

校長 西川 和利



本日終業式を迎えました。今学期を無事終えることができますのも、保護者、地域の皆様のご理解ご協力のおかげと心より感謝申し上げます。明日から夏休みに入りますが、引き続き子どもたちを見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

さて、8日～11日まで、5年生の「みどりの教室」の引率で、館岩少年自然の家に行ってきました。初日、予定より早く少年自然の家に着きました。周囲の山々の緑と空の青さに囲まれた、レンガ色の屋根が似合う少年自然の家が迎えてくれました。途中、バスの車窓から見える川の水量が少なく、何度も訪れている館岩ですが、こんな流れを見たのは初めてです。

2日目に、昨年、御池と沼山峠の間が通行止めで行くことのできなかった尾瀬に向かいました。標高807mにある少年自然の家を出発し、標高1500mの御池でシャトルバスに乗り換え、標高1700mの沼山峠休憩所に到着し、いよいよ尾瀬沼を目指します。子どもたちは初めのうちは、連続する上り下りの山道に苦労していましたが、眼下に湿原が広がると整備された木道を一列になって景色を楽しみながら歩きました。尾瀬沼に近づくにつれ、湿原に咲くニッコウキスゲが「心安らぐ人」の花言葉通り疲れを癒してくれました。雨が降ったり止んだりする中のハイキングでしたが、途中リタイヤする子は一人もなく、最後まで歩き通すことができました。3日目に行ったイワナつかみ、さばきでは、どの子も逃げるイワナを見事に捕まえていました。その後、自分でさばき、串に刺して所員さんに焼いていただきました。子どもたちは、命をいただくことの尊さを体験を通して学びました。敷地内を流れる小白沢を探る源流体験では、大きな淵を渡ったり、ロープを掴んで滝を登ったりとまさに探検隊の気分です。難関の滝登りも楽しみながら難無く乗り越え、担当の所員さんから「大宮小は登り方が上手です。」と褒められました。この他、フォトオリエンテーリング、キャンプファイヤー、焼き板作りやみどりの体験学習など計画していた活動は、好天に恵まれ予定通り実施することができました。ナイトハイクを終えて自然の家に戻ると、頭上に大きく広がる美しい星空を見ることもできました。

「感動 自分から進んで 自然に学ぼう 協力しよう」のスローガンを掲げて取り組んだみどりの教室。友達に声をかけて励ましたり助けたりする姿、自分の役割を責任をもってやりとげる姿、そして、自分から進んで行動する姿など4日間の活動を通して、子どもたちの生き生きとしたたくさんの姿を見ることができ、たくましささえ感じました。日常の生活を離れ、様々な活動をやり遂げて一歩も二歩も成長した子どもたち、この教室で学んだ多くのことをこれからの生活にも生かして欲しいと願っています。

